

地小出版  
方小版

情報誌

# アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター  
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20  
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

## 伝えてゆきたい「拾わない」というやさしさ —日本野鳥の会 はじめての絵本『ぼくとりなんだ』を出版して—

文・公益財団法人 日本野鳥の会 江面康子

### ●自然とくらす絵本作家・和歌山静子さん

「私の庭は小鳥の銭湯ね」と、和歌山静さんは笑う。

打合せの途中、「チツ」という小さな声に気づき庭を見ると、池で小鳥が水浴びをしていた。しばらくすると近くの枝に移って羽づくろい。和歌山さんも私たちスタッフも、話を忘れてじっと見入ってしまう。

その合間に、「鳥はどうして水浴びが好きなの?」「あの鳥はどこからやってくるの?」と、質問が次々ととんでくる。

和歌山さんは、『王さまシリーズ』(寺村輝夫作、理論社)、『てんでんてん』(福音館書店)など多数の人気作品をもつ絵本・紙芝居作家。閑静な住宅街にあるご自宅には、小さな庭があり、屋根より高いコナラの木を中心に、高低さまざまな樹木や野草が茂る。片隅には小さな池も作られている。

ご自宅にうかがう度に、和歌山さんは、カエルやカマキリ、草花などを手にしては、庭での発見を嬉しそうに話してくださる。

こんな毎日があるからこそ、多くの子どもたちの心をつかむ数々の絵本や紙芝居が、そして、今回の作品が生まれたんだと、あらためて振り返る。

### ●絵本で伝えたいこと

「ヒナを拾ったけれどどうしたらいいの?」春になると、当会にはこのような問い合わせが寄せられ、多い月で200件にのぼる。それに対して私たちは、「巣立った後のヒナは拾わないでそのま



絵本『ぼくとりなんだ』 作・絵：和歌山静子 / B5判・32ページ / 本体1,400円 (税込1,470円) / 2012年4月発行

まに」とお伝えする。

巣立ち後のしばらくの間、ヒナは親鳥と行動しながら食べ物の採り方や危険からの逃げ方を学ぶ。その間、ヒナはうまく飛べずに地面に降りることもあるが、親鳥が近くで見守っていて、ヒナを迎えにやってくることが多い。そこで人が手を差し伸べてしまうと、ヒナが親鳥のもとへ戻る機会を奪いかねない。また、全てのヒナが無事成長できるわけではない。ときに他の生き物に食べられることで、自然界の一員としての役目を果たすこともある。

そのことを広く知らせていきたいと、野生動物救護獣医師協会、日本鳥類保護連盟、日本野鳥の会の3団体は共同で「ヒナを拾わないで!! キャンペー

ン」を18年にわたって実施してきた。

主な活動は、ポスターを全国に配布し、「ヒナを拾わないで」と呼びかけること。それに加えて今回、日本野鳥の会は、絵本と紙芝居の制作を企画。趣旨にご賛同下さった和歌山静子さんに絵本と紙芝居の創作を依頼した。

「拾わないことも“やさしさ”のひとつ」。そう伝えることで、必要のないヒナの保護を減らすことはもちろん、生き物のくらしに興味をもち、彼らの立場に立って自然とつきあうことができる人を増やせればと願う。それは、野鳥のためだけではなく、様々な問題を抱える人と自然の関係をよりよい方向へ導くために、大切な姿勢なのではと考える。子どもたちが大人になったときに、思い出して欲しいメッセージだ。

### ●自然のしくみ vs 子どもの気持ち

和歌山さんが苦心されたところは、「ヒナを助けてあげたい」という子どもたちの優しい気持ちを大切することだった。

小さなヒナがピーピーと鳴き、つぶらな瞳をむけてきたら、誰もが「助けてあげなくては」と感じるだろう。それは、人として大切な優しさであり、子どもの成長の証でもある。

また、「ヒナを拾わない」ことがなぜヒナや自然のためになるのかを理屈で説明するだけで、子どもたちは納得してくれるのだろうか。

そのような想いや疑問が大きな課題となり、なかなか物語の筋が決まらなかった。

そんな中、和歌山さんが考えたのは、「登場する鳥や人の想い」に子どもたちの気持ちを重ね合わせてもらうことだった。ヒナの「親鳥と一緒にいたい」という想い、地面にいるヒナは「困っている」のではなく「生きるためにがんばっている」という想い、そして、「い

つか自分の翼で大空を飛びたい」というヒナの想い。自然界の理屈ではなく、子どもたちが想像できるであろう「想い」を鳥や子どもの目線で表現する物語にたどりついた。

### ●完成した2つの物語

そうして依頼から足掛け3年。絵本『ぼくとりなんだ』と紙芝居『わたしのことり』（非売品）が生まれた。

和歌山さんのアイデアで、地面にいるヒナに子どもが出会う、という出来事を、絵本はヒナの目線で、紙芝居は主に子どもの目線で描くことになった。

絵本は、ヒナと出会った男の子に、「ぼくのはなしをきいてくれる？」とヒナが語りかけることから始まる。鳥の親子のくらしや親鳥から飛び方や虫の捕り方を教わることへの期待をヒナの言葉で話してくれる物語だ。

一方、紙芝居は、ヒナと出会った女の子が主人公。「私の子を返して」とやってきた親鳥に対し、女の子は自分でヒナを育てられると説得するが、ことごとく失敗する。女の子が納得できないとき、「お母さんのところへ帰りたい」というヒナの気持ちを知り、ヒナを放してあげるといふ展開だ。

「自分がヒナだったら?」「自分が子どもだったら?」和歌山さんの子ども

のような好奇心と生き物たちと近いくらしがあるからこそ、生まれた2つの物語だ。

自然の理屈は理解されなくても、「鳥にもお母さんがいる」、「自分がくらす場所には、鳥もくらししている」といった小さな気づきが、子どもたちの心のどこかに残ってくれたら、はじめの一步としては十分だ。絵本や紙芝居を通して、子どもたちに身近な生き物のくらしに興味をもってもらおう。そんな活動を続けていきたい。

(えづら やすこ/公益財団法人 日本野鳥の会)

## 新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

### 『絵本の庭へ ー児童図書館基本蔵書目録1』 ●東京子ども図書館編



まずもって、生成り地に薄色の絵柄を配した清楚な装訂に魅せられる。子どもの本と読書を専門とする東京子ども図書館の蔵書目録。1950年から2010年までに日本で刊行された絵本の内1157点を収録。画家の五十音順に排列し、すべてに書影と解説を付すほか、お薦めの読者対象を親しみやすくマークで示す。驚くべきは、書名、人名索引に続く、考え尽くされた件名索引。題材、

出来事、登場人物、場所、時代、事物などを体系化する。例えば、登場人物ー性格・人格ーなまけ者ー『さるとびっき』のように。目録は単なるリストではなく、絵本との幸せな出会いをもたらすもの。作者の熱い思いがひしひと伝わってくる。  
◆3780円・A5判・397頁・東京子ども図書館・東京・2012/3刊・ISBN978-4-88569-199-7

### 『福島原発事故 ー内部被ばくの真実』 ●柴田義貞編



東電福島第一原発事故が深刻な混乱をもたらしている大きな要因に、情報が一元化されず、何を信じるべきか分からないことにある。特に食品汚染による内部被ばくへの不安は、消費者のみならず、風評被害となって生産者をも苦しめている。

本書は、福島とチェルノブイリにおける食品汚染の詳細な分析と、リスクコミュニケーションについての、放射線疫学、リスク科学、甲状腺学、

核医学、食品学などの研究者、ジャーナリストによる討論の2部からなる。やや専門的であるが、国民の側にも放射能が内包する危険性について正しく理解し、リスク論の立場で普段の生活を冷静に議論する力を養うことが求められている。

◆1260円・新書判・219頁・長崎新聞社・長崎・2012/5刊・ISBN978-4-904561-49-2

### 『創刊号に賭けた十人の編集者 新装版』 ●塩澤実信著



雑誌を新たに出すということは、単行本を一冊刊行するのとはわけが違う。長期間、多くの人の力を結集してアイデアを練り、社運を賭けるということでもある。本書は、戦後の有名雑誌下記10誌について、生みの苦しみの経緯をドラマチックに再現して読む人を飽きさせない。各社それぞれ社風も異なり、ものごとを決めていく過程も色々面白い。その10社とは、ロマンス社と

『ロマンス』、平凡出版(現マガジンハウス)と『平凡』、暮しの手帖社と『暮しの手帖』、朝日新聞社と『朝日ジャーナル』、平凡社と『太陽』、中央公論社と『海』、小学館と『GORO』、集英社と『日本版PLAYBOY』、主婦と生活社と『angle』、青春出版社と『BIG tomorrow』。

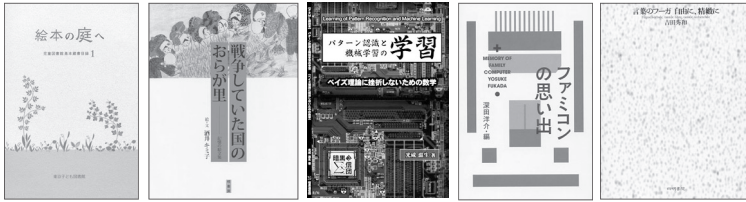
◆2520円・四六判・269頁・出版メディアパル・千葉・2012/5刊・ISBN978-4-902251-76-0

# 売行良好書

期間：2012年6月16日～7月15日

[出荷センター扱い] ※税込み価格

- (1)『絵本の庭へ』3780円・東京子ども図書館 (2)『戦争していた国のおらが里』3990円・桂書房 (3)『パターン認識と機械学習の学習』1050円・暗黒通信団 (4)『ファミコンの思い出』1365円・ナナロク社 (5)『言葉のフーガ 自由に、精緻に』2520円・四明書院 (6)『未来ちゃん』2100円・ナナロク社 (7)『攻め切る』1680円・アートヴィレッジ (8)『わが家の虫図鑑』2940円・トンボ出版 (9)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・書籍情報社 (10)『絵本図書館 新装版』2415円・ブック・グローブ社 (11)『紫の花伝書』2310円・中国書店 (12)『タコと日本人』2205円・弦書房 (13)『赤いおおかみ』2415円・古今社 (14)『中国情報ハンドブック 2012年版』3150円・蒼蒼社



[三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書] ※税込み価格

- (1)『東京かわら版 7月号』420円・東京かわら版 (2)『琉球王権の源流』945円・榕樹書林 (3)『私たちの教室からは米軍基地が見えます』1470円・ボーダーインク (4)『越中中世城郭図面集覧』2100円・桂書房 (5)『円周率100万桁表』330円・暗黒通信団 (6)『槍ヶ岳とともに』1050円・信濃毎日新聞社 (7)『三山とグスク』1848円・むぎ社 (8)『未踏の野を過ぎて』2100円・弦書房 (9)『素数表150000』375円・暗黒通信団 (10)『タコと日本人』2205円・弦書房

[ジュンク堂書店池袋店地方出版社の本—センター扱い図書] ※税込価格

- (1)『現代社会はどこに向かうか』683円・弦書房 (2)『ひめゆり』たちの声』2310円・出版舎Mugen (3)『うたびとの日々』1575円・書肆俣俣房 (4)『ともにある 1』1890円・木星舎 (5)『いにしえ吉備の自転車古墳さんぽ』1050円・吉備人出版 (6)『吉田類の土佐酒note』1000円・高知新聞社 (7)『医者現場でどう考えるか』2940円・石風社 (8)『昆虫の図鑑 採集と標本の作り方 増補改訂版』3675円・南方新社 (9)『ホームホスピス「かあさんの家」のつくり方』1470円・木星舎 (10)『琉球王権の源流』945円・榕樹書林

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。  
本と出版流通のページ：<http://neil.chips.jp/>


# トピックス — ★★

▼昨年秋の「ブックインとっとり2011」で鳥取県立図書館内に展示された各県の代表的な地方出版社の本の中から、第25回地方出版文化功労賞が選定されましたので報告いたします。/地方出版文化功労賞・奨励賞に『東北ダイコン風土誌』(佐々木寿著・東北出版企画刊・2625円)。—帯文より「ダイコンの秘密と魅力!!東北は野菜の王様ダイコンの宝庫。その食文化と民俗を解き明かすダイコン物語!」/同じく奨励賞に『愛だ!上山棚田団 限界集落なんて言わせない!』(吉備人出版刊・協創LLP編著・1575円)。—序文より「ところが、その上山の千枚田がもの凄いスピードで復活しはじめたのだ。そのムーブメントの中心は、都会で働く人たちがコツコツと3年間続けてきた棚田再生活動だった。『英田上山棚田団』。大阪市西成区に拠点を置く『協創LLP(有限責任事業組合)』のプロジェクト名である。」/そして特別賞に『奄美沖縄環境史資料集成』(南方新社刊・安溪遊地、当山昌直編・10290円)。—序文より「この資料集成は、奄美・沖縄の人と自然の関係について深く知りたい、学びたい人々への手引きとなることをめざして編んだものである。」/表彰式および記念講演会は10月20日13:30~15:30、鳥取県立図書館(鳥取市)で予定されています。/この賞は今年で25年目にあたり、四半世紀に亘って地方での出版活動への激励として貢献してきました。

# 郵便販売のご注文方法

- ◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。
  - ◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3~4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。
  - ◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。
- ★地方・小出版流通センター  
FAX: 03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



## 三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

**神保町本店 4階**  
**地方出版・小出版物フロア**

営業時間 10:00 AM ~ 8:00 PM  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1  
TEL. 03-3233-3312(代)  
URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

**営業の  
ごあんない**

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

